

燦々

SANSAN
 光り輝く

謹賀新年

追分アサヒメロン組合 創立50周年記念式典



特集

追分アサヒメロン組合創立50周年記念式典～50年の歩み～

追分アサヒメロン組合及び、関係機関大集合 記念撮影

JAとまこまい広域広報誌
 燦々光り輝く
 No.210



編集・発行

〒059-1693
 JAとまこまい広域本所
 TEL 0145-272241 FAX 0145-271394
 北海道勇払郡厚真町錦町10番地2

令和元年12月10日
 ホームページアドレス
 http://www.ja-tomakomai.co.jp
 メールアドレス
 info@ja-tomakomai.co.jp

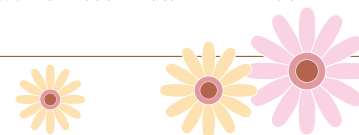
印刷 株式会社 須田製版

年末年始の営業時間案内(12月23日～1月6日)

月 日	曜日	一般業務	金融業務	ATM	スタンド	A コ ー プ			生乳検査室	死亡牛処理
						厚真店	かみあつま店	穂別店		
12月23日	月									
12月24日	火									
12月25日	水	9:00～17:00	9:00～16:00	8:45～18:00	8:00～18:00	9:00～18:00	7:00～18:30	9:30～18:00	持 込 12:00まで	9:00～17:00
12月26日	木									
12月27日	金									
12月28日	土	9:00～12:00	休 業	9:00～13:00	8:00～18:00	9:00～18:00	7:00～18:30	9:30～18:00	持 込 10:00まで	9:00～12:00
12月29日	日	休 業	休 業	休 業	臨時営業 8:00～17:30	臨時営業 9:00～17:00	8:00～16:00	臨時営業 9:30～17:00	休 業	休 業
12月30日	月	9:00～17:00	9:00～16:00	8:45～18:00	8:00～18:00	9:00～18:00	7:00～18:30	9:30～18:00	持 込 12:00まで	9:00～17:00
12月31日	火	休 業	休 業	休 業	臨時営業 8:00～12:00	臨時営業 9:00～12:00	短縮営業 7:00～12:00	臨時営業 9:30～12:00	持 込 12:00まで	休 業
1月1日	水	休 業	休 業	休 業	休 業	休 業	短縮営業 10:00～14:00	休 業	休 業	休 業
1月2日	木	休 業	休 業	休 業	休 業	休 業	短縮営業 9:00～15:00	休 業	休 業	休 業
1月3日	金	休 業	休 業	休 業	休 業	休 業	短縮営業 9:00～15:00	休 業	持 込 12:00まで	休 業
1月4日	土	休 業	休 業	休 業	休 業	休 業	短縮営業 9:00～15:00	休 業	休 業	休 業
1月5日	日	休 業	休 業	休 業	休 業	休 業	8:00～16:00	休 業	休 業	休 業
1月6日	月	9:00～17:00	9:00～16:00	8:45～18:00	短縮営業 8:00～17:00	短縮営業 9:00～17:00	7:00～18:30	9:30～18:00	持 込 12:00まで	9:00～17:00

※ホクレンショップ苫小牧店、沼ノ端店のATMは12月28日・29日・**31日**も営業しております(営業時間 9:00～17:00)、30日は通常通り(9:00～21:00)
 ※コンビニ提携のATMは、平日8:45～18:00と土曜9:00～14:00の間は手数料無料。それ以外のご利用は手数料(110円)がかかります。
 (平日 8:00～22:00・土日 8:00～21:00・12月31日～1月5日 8:00～21:00)

お悔やみ 謹んでご冥福をお祈りいたします。



月 日	地 区	氏 名	享年
11/2	厚真町	近藤 晏弘さん	78
11/10	厚真町	本田 直隆さん	89

月 日	地 区	氏 名	享年
11/19	苫小牧市	堀川 満さん	86
11/22	厚真町	伊東 繁雄さん	94

お詫び

前月11月号の掲載内容に誤りがございました。正しくは以下の通りです。お詫びして訂正致します。
 8ページ 新役員紹介 【誤】「平成12年9月～平成27年7月むかわ町農業委員」
【正】「平成12年9月～平成21年7月むかわ町農業委員」

読者の皆様へ

1月発行のお休みのお知らせ

いつも「燦々」をご愛読くださり心よりお礼申し上げます。
 今号は12・1月合併号としてお届けしており、1月発行号はお休みさせていただきます。
 次号は2月発行号となります。

JA一般業務の冬期間営業中止のご案内(1月～2月)

2019年4月より働き方改革が一部施行され、農作業繁忙期の営業を確保しつつ、職員の労働環境向上との調和を検討するため、金融・共済・生産資材・上厚真生産資材・農機具センター・一般業務の令和2年1月～2月の土曜営業を中止させていただきます。

(注) 給油所・Aコープ・ATMの土曜営業は今まで通り継続致します。

(注) 上厚真生産資材においては、令和2年1月6日(月)～2月2日(日)まで閉鎖(平日・土日・祝日完全閉鎖)となります。
 2月3日(月)からは、上記と同様土曜営業は中止と致します。

[illegible]

とまこまい広域農業協同組合
代表理事組合長

宮田 広幸

謹んで新年のお慶びを申し上げます。

一昨年、発災した胆振東部地震でお亡くなりになった方々にお悔やみ申し上げ、今尚仮設住宅にお住まいの方にお見舞い申し上げ、復興にご尽力されている方々に深く敬意を表します。昨年を振り返りますと春先は強風被害も受けながらも比較的順調に推移しましたが、7月の停滞した天候で不安がよぎりました。水稲の作況指数は胆振105の「やや良」となり良質な生産となりましたが

一昨年の不祥事に対応し、農林中金、道連合会、胆振総合振興局の指導を受けながら、再発防止策の定着に取り組み、早期に要改善農協からの解除により組合員の皆様方からの信頼回復にも努めてまいります。胆振東部地震からの復旧・復興を皆様と共に取り組み、豊穡の秋と皆様のご健勝を心よりご祈念申し上げ、新年のご挨拶とさせていただきます。

謹んで新年のお慶びを申し上げます。		とまこまい広域農業協同組合	
【役員】			
代表理事組合長	宮田 広幸	代表理事専務	堀 弘幸
代表理事専務	松原 正明	審査担当理事	信田 武夫
信用担当理事・金融部長	竹田 克市	白老地区担当理事	齋藤 正則
理 事	丹羽 秀則	苫小牧地区担当理事	金川 幹夫
早来地区担当理事	梅田 鋭敏	理 事	小谷 正男
理 事	林 出芳	追分地区担当理事	中道 幸夫
理 事	齊藤 義幸	厚真地区担当理事	石橋 公昭
理 事	畑 嶋 賢蔵	理 事	小谷 和宏
理 事	藤 岡 健人	理 事	内藤 順介
理 事	山田 義雄	理 事	山田 浩一
理 事	兵頭 利彦	理 事	橋本 智子
理 事	阿部 智子	理 事	

【職員】

參	企	共	販	農	畜	經	金	白	古	早	厚	德
部	內	濟	賣	產	產	濟	融	老	小	來	真	別
監	管	農	畫	產	部	部	支	支	支	支	支	支
查	理	部	部	部	部	部	所	所	所	所	所	所
室	長	長	長	長	長	長	長	長	長	長	長	長
事	長	長	長	長	長	長	長	長	長	長	長	長
服	飯	佐	松	武	木	森	岩	保	松	溝	淺	近
部	村	々	河	明	林	三	田	科	浦	野	野	藤
清	賢	和	新	河	茂	雅	悅	敏	稔	真	克	克
司	明	弘	一	新	樹	浩	樹	史	稔	人	克	克



白老町長
戸田安彦

謹んで令和「初めて」の新年のお慶びを申し上げます。
とまこまい広域農業協同組合の皆様には、日頃より
本町の農業の振興に対し、格別のご理解とご協力を賜
り、心より御礼を申し上げます。

また、2018年9月6日に発生した北海道胆振東部地震は、今なお、大きな爪痕を残しておりますが、被災された皆様の日も早い復旧、復興がなされることを心よりご祈念申し上げます。

さて、昨年は、「白老牛肉まつり」が、第30回の節目を迎え、盛会裏に終了することができました。今日を迎えるまでの先人の「労苦」に対し、心より敬意を表するとともに、関係各位のご支援に対し、心より御礼を申し上げます。

近年では、素牛・枝肉価格も高値で取引され、農家経営も比較的堅調であります。引き続き白老牛のブランド力の維持・向上に向け、地域一体となった取り組みに邁進してまいりたいと考えております。

現在、我が国の農業は、ＴＰＰ１１の発動や日米貿易協定による関税の引下げ等、その動向が懸念されておりますが、一方では、20年ぶりとなる中国への牛肉の輸出解禁など、今後の展開が期待される状況にもあります。

今後は、国際化を含め、より一層、社会情勢への対応が必要になると思いますが、どのような状況下でも、組合員の皆様とスクラムを組み、「ONE TEAM」となつて、勇敢にこの令和の時代を前進していければ幸いに存じます。

結びにとまこまい広域農業協同組合の益々のご発展と組合員並びにご家族皆様のご健勝とご多幸をご祈念申し上げます。



岩倉博文

新年あけましておめでとうございます。

とまこまい広域農業協同組合の組合員・役職員の皆様におかれましては、健やかに新春をお迎えのこととお喜び申し上げます。

また、日頃より市政に対しまして、御理解と御協力をいただいておりますことに厚くお礼申し上げます。

昨年は10月に過去最強クラスの台風19号に見舞われ、作物の生育遅延や収量の減少が心配されましたが、生育は順調に進み、水稲は良い作柄となるなど豊穡の秋となりましたことをお慶び申し上げます。

昨年の農業を取り巻く情勢は、9月下旬に日米貿易協定の最終合意がなされ、農林水産品に係る日本側の関税について、T P P の範囲内とされましたが、乳製品品目をはじめとする畜産物の生産額に大きく影響するため、今後とも注視していく必要があります。

貴組合におかれましては、引き続き地域経済及び農業従事者の皆様を守ることを第一に取り組んでいただき、ますとともに、消費者に喜ばれる「安心・安全」な農畜産物の安定供給、都市と農村が共生する地域社会構築に、ご尽力を賜りますようお願い申し上げます。

結びになります。貴組合の今後益々のご発展と、組合員皆様のご健勝と御多幸を祈念いたしまして、新年のご挨拶といたします。



安平町長
及川 秀一郎

新年明けましておめでとうございます。

皆様におかれましては、輝かしい新春を健やかに迎えのことと心よりお慶び申し上げますとともに、日頃より町政全般に對しまして深いご理解と協力を賜っておりますことに心から厚くお礼申し上げます。

さて一昨年9月6日の「北海道胆振東部地震」から1年4ヶ月が経過しましたが、この間J Aとまごまい広域はもとより組合員皆様の「協力」により、着実に復旧作業が進められておりますが、引き続き被災者の皆様並びに関係機関と情報共有を図りながら復旧・復興に向け邁進して参ります。

昨年の農業状況を顧みますと、やや干ばつ傾向ではございましたが、作況的には、水稻・畑作とも、例年を上回る品質・収量を確保できましたことは、ひとえに組合員の皆様の努力の賜物と改めて敬意を表するところでです。

酪農・畜産につきましても、和牛素牛価格、枝肉価格は高値で安定し、乳肉、養豚につきましても順調に推移していることから、安定的水準で取引が継続されますことを望んでいますところですが、安平町の農業の動きとして、昭和44年に設立されたところ、追分アサヒメロン組合が創立50周年を迎え、昨年11月に記念式典が開催されました。

アサヒメロンは地産農業の発展に資与され、現在ではアサヒメロンブランド継承事業として、就農希望農者の受入支援や技術支援などをおこない、これまで3組が新規就農者だ。今年の春には新たに2組の仲間が加わることとなっており、改めて敬意と感謝を申し上げます。

また、町内農業業者が構成されます団体が生産する「安平町産じゃが芋」が、『(株)カルビー』が企画するこの地ボタトチップス「北海道ザンギ味」の原料として使用されましたことは、安平町の知名度向上、そして全国に元気な姿を発信できたことは嬉しい限りです。

昨年4月にオープンいたしました、道の駅「あびらD51ステーション」でござりますが、計画入場者数32万人に對しまして、既に70万人を超える入場数となっており、農産物直売場がその一躍を担っておりますことに對しまして、深く感謝いたします。

結びになりますが、JAとまこまい広域の益々のご発展と組合員皆様のご健勝とご多幸を心からご祈念申し上げ、念頭のご挨拶とします。



厚真町長

宮坂 尚市朗

新年明けましておめでとうございます。
組合員・役職員そしてご家族の皆さまにおかれましては、希望に満ちた輝かしい2020年の新春を、穏やかに迎えのことと心からお慶び申し上げます。
また、日頃より町政に對しまして深いご理解とご協力を賜り、心から厚くお礼申し上げます。

昨年は、気象変動が大きく、数度の台風接近があったものの、農作物の生育には大きな影響もなく、結果的には、各作物の収量・品質ともに平年並みからやや高く、良好な作物となりました。無事に豊穡の出来秋を迎えることができましたことは、北海道胆振東部地震による被災後、春から営農を再開された組合員の皆さまの努力の賜物であり、深く敬意を表します。

国内における農業情勢につきましては、TPP11、日EU・EPAが発効し、さらには日米貿易協定が大筋合意を経て発効へ向けた取り組みがなされており、わが国はかつてない高水準の貿易自由化時代を迎えています。これらにより、国内はもとより北海道の農業経営環境はより厳しさを増していくことが懸念されます。町としても、新たな国の施策に対応できる施策展開や生産性の向上と担い手育成など、強い農業・農村づくりに取り組んでまいります。

激動する農業情勢下、また各種災害復旧事業が進められるなか、農業生産基盤はもとより、生活基盤や産業基盤の再構築・強化へ向けて、組合員の皆さまにおかれましては、今後とも、より一層JAとまこまい広域に結集し、協同の力を存分に発揮下さるようご期待申し上げます。結び、貴JAの益々のご発展、今年1年の組合員並びに役職員皆さまのご健勝とご多幸を心からご祈念申し上げます、年頭のご挨拶といたします。



むかわ町長

竹中 喜之

新年 明けましておめでとうございます。
組合員の皆様におかれましては、令和2年の新春をお健やかに迎えのことと心からお喜び申し上げます。
また、日頃から町政の推進に對しましてご理解とご協力を賜り厚くお礼申し上げます。

北海道胆振東部地震発生から1年と4ヶ月ほどが経過し、この間、復興への歩みを着実に進めてきております。これも二重に組合員ならびに農協職員皆様のご協力とご尽力の賜と厚くお礼申し上げます。

さて、「むかわ町復興計画」が策定され、農業の取組として、被災した農地等の復旧・整備、生産性の向上と経営の安定化、所得の向上と経営の安定化、次代の農業を支える担い手の育成と確保の4本柱の下、具体的な施策を未来に向けたむかわ町をつくるため全力をあげて推進してまいります。

本年も引き続き「むかわの底力」で農業の復旧・復興に向けて努力してまいりますので、皆様のご理解とご協力を賜りますようお願い申し上げますとともに、今後ますますのご発展と組合員皆様のご多幸を祈念いたしまして、新年のごあいさつとさせていただきます。



胆振農業改良普及センター
東胆振支所 支所長

斯波 肇

震災からの更なる復興と
地域の資源を活かした持続的農業を
新年、明けましておめでとうございます。
日頃より普及センターの活動に對しましては、農業者をはじめ、各関係機関のご協力、ご支援を頂いていますこと、この紙面を借りて心よりお礼申し上げます。

さて、昨年の作物を振り返りますと、春先から6月までは高温・少雨・多照の中、順調な農作業、生育となりました。その後、7月から8月にかけての日照不足の影響が心配されましたが、9月からの好天により、水稲では作況指数「105」（10月時点）となり、前年を上回る結果となりました。また、畑作品目は平年作以上、飼料作物や野菜、花きなどの各品目についても平年作となりました。

一昨年発生した胆振東部地震からの復興事業も着々と進み、用・排水路整備の本復旧や埋没農地からの土砂撤去作業、各施設整備など、更なる復興が見込まれます。本年の営農に向けて、各関係機関はもとより農業者各位の努力により、震災からの復興活動や地域振興対策が行われており、普及センターも各関係機関と連携し、支援してまいります。

一方、農業を取り巻く環境は、国際情勢や人口減少・高齢化などの影響により、めまぐるしく変化する時代となりました。農業者個々の個性を活かし、地域の特色ある気象条件や各交通の利便性など地域資源を活かした農業を持続的に支えるために、普及センターは農業者とともに各関係機関と連携し、各種ニーズに対応していきたいと考えております。

本年が、関係各位の益々のご健勝とご発展、豊穡の秋を迎えますことを祈念して、ご挨拶と致します。



みなみ北海道農業共済組合
組合長理事

伊藤 栄一

新しい時代、令和2年の新春を迎え、JAとまこまい広域の組合員、そして、ご家族の皆様、新年あけましておめでとうございます。

また、日頃より「みなみ北海道農業共済組合（NOSA Iみなみ）」の事業推進と事業運営に對し、ご理解とご協力を頂いておりますことに厚く御礼申し上げます。
昨年は、大きな震災からの復旧・復興に大変苦労された1年ではなかったでしょうか？その中で胆振管内では農作物の作柄は、概ね良好に進み、総じて平年作以上の出来秋と思われます。

しかし、他県（宮城・福島・千葉等）では、台風15号・19号の豪雨・強風により農作物や施設園芸等に甚大な被害が発生しました。自然災害に對し、私達NOSA I団体は損失の補填という役割を担っています。「備えあれば憂いなし」の農業生産体制の構築に向け、「備えの種をまこう」を合言葉に農業者皆様にご加入頂けるよう事業を展開しています。

NOSA Iみなみも発足して3年を迎えようとしていますが、今年は事務賦課金と家畜診療諸料金が統一されます。また、全道1組合化に向け協議が進められていますので、NOSA Iみなみとして健全運営に取り組むと共に、農業災害補償制度と収入保険の推進で、農家経営のセーフティネットとして「強い農業」と「美しく活力ある農村」の実現に貢献して参ります。

令和2年が皆様にとって素晴らしい年になることを、ご祈念申し上げ新年の挨拶とします。



とまこまい広域農協
青年部長

中澤 和晴

令和2年の年頭に当たり、謹んで新年のご挨拶を申し上げます。皆様におかれましては、輝かしい新春をお迎えのことと心からお慶び申し上げます。

また、組合長並びに組合員の皆様には、旧年中私どもJAとまこまい広域青年部の活動に多大なるご協力と、格別のご厚情を賜りまして厚く御礼と感謝を申し上げます。

震災の際には多くの方々にご支援頂き、お礼の気持ちを含めて9月には、道の駅あびらD51ステーションにて「ありがとうマルシェ」の開催と、鈴木北海道知事を表敬訪問し復興元年産の新米を贈呈、10月と11月には昨年震災で中止を余儀なくされた、青年部・若手JA職員・若手・ホクレン職員との皆で夢を描く「夢Tシャツ作り」研修会、「経営者に会いに行こう」と題して十勝方面への視察研修を実施しました。

青年部活動を通して仲間と夢を語り合い絆を深めてく事が、青年部のテーマ「30年後も共に此処に」という理想を現実に変えていく力になる。これから先の末永い未来へ向けて、一人一人が協同の精神を心に刻み営農活動を行う所存でございますので、今後ともご指導ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。
年頭のご挨拶とさせていただきます。

謹んで新年のお慶びを申し上げます。
JAとまこまい広域青年部

部長 中澤 和晴
副部長 井澤 佑介
副部長 内藤 誠司
副部長 山田 晋也
副部長 渡部 大樹



JAとまこまい広域
女性部長

佐藤 美奈子

新年あけましておめでとうございます。
組合員の皆様におかれましては、お健やかな新春をお迎えのことと心よりお慶び申し上げます。また日頃よりJA女性部活動に對し多大なるご指導・ご支援を賜り厚く御礼を申し上げます。

昨年の女性部の活動を振り返りますと、一昨年中止した「食文化研究講習会」は勇払小学校において無事に開催でき生徒たちと楽しい時間を過ごすことができました。「女性の集い」では厚真町の被害の大きかった地域を視察し復興にはまだ時間がかかることを実感し改めて災害の怖さ災害に対する備えの大切さを考えさせられました。

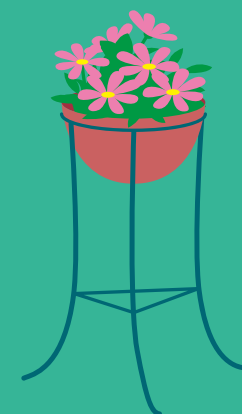
今年も組合員、JA役職員、関係機関の皆様により一層のご指導、ご協力を賜りますようお願い申し上げます、新年のご挨拶とさせていただきます。

謹んで新年のお慶びを申し上げます。
JAとまこまい広域女性部

部長 佐藤美奈子
副部長 大頭 陽子
理事 山田 郁子
理事 中道 恵美
監事 内藤 圭子
監事 天野志保子



追分アサヒメロン組合 創立50周年記念式典、50年の歩み



安井組会長挨拶



懇親会の様子①



懇親会の様子②



アサヒメロン組合より市場へ長きにわたるご支援に対する表彰



功労者へ表彰状贈呈(前佐藤組会長のお礼挨拶)



講演の様子



最後に万歳三唱

胆振管内JAとまこまい広域の追分アサヒメロン組合は11月7日、安平町追分公民館で創立50周年記念式典を開催した。及川秀一郎安平町長をはじめ当JA常勤役員、各市場関係者や関係団体が集まり総勢70名が出席し歴史を振り返った。

(安井組会長挨拶 先人に感謝伝え、今後の組合を語る)

式典では安井貴志追分アサヒメロン組会長が「このように50年を迎えることができたのは、多くの先輩たちの創意と努力、そして各関係機関から長きにわたりご支援をいただいた賜物です。また今後グローバル化により進み市場環境の激変が考えられますが、消費者に信頼される、高品質な産地として尽力します」と組合員を代表して挨拶した。

(アサヒメロンの歩み)

昭和39年、追分旭地区の3名が中山間地域の新たな作物としてメロン栽培に取り組み、昭和45年に21戸の生産者でアサヒメロン組合を設立した。現在は25戸の生産者で年間約2億5千万を売り上げている。また生産者減少が続く組

合において、町・農協・普及センターが一体となり、平成26年にアサヒメロン現地支援協議会を立ち上げ、新規就農者を募集し、翌年から1期生の研修を開始し現在では3組が就農を果たし、同じく3組が研修生として新規就農を目指している。

またホクレン農産事業本部 柳山浩之特任技師を記念講演に招いた。柳山特任技師は前職普及センターに勤め、アサヒメロン組合の発展に大きく関わり、当時を振り返りながら講演を行った。その中で「畑での生育段階で商品の品質を揃えることができないと、広域の産地で成功することはできない」と述べた。こうした技術スタッフや販売スタッフ、そして商品を生産する組合員の努力がこうして50周年という長きにわたり歩みを進めることができたのだらう。

(将来に向けて)

JA担当者は「この50周年という時に立ち会えて光栄に思う。今後もより力を入れて販売を強化していきたい」と抱負を述べた。また組合員の中には「安井組会長の挨拶の言葉にもあったように、環境が変わろうと私たちは消費者へ商品を届けることは変わらないので、栽培技術をより向上させ、高品質の商品を提供できるように努力し続けたい」と語った。



広域

J A 北海道大会実践フォーラム

北海道550万人と共に創る
「力強い農業」と「豊かな魅力ある農村」

J A グループ北海道（J A 北海道大会実践委員会主催）は11月12日、札幌市教育文化会館の大ホールでJ A 北海道大会実践フォーラムを開催した。

全道各地からJ A 組合長や連合会会長、青年部、女性部の代表者など約1,000人が集まり、当J A からは青年部、女性部、J A 職員ら7名が参加した。

基調講演では日本経済新聞社の吉田忠則編集委員が「農業の未来と農協への期待」と題し、収穫ロボットやスマート農



▲大会実行委員長を務めたJ A 北海道中央会の飛田稔章会長の挨拶

業、植物工場で栽培される野菜など都府県での事例を紹介。また農林水産省経営局協同組織課の日向彰課長が「農協改革を巡る情勢・動向と農協に期待すること」と題し、農協改革の進捗状況や経済事業における黒字農協の事例などについて報告した。

事例発表では、議案第1号「農業所得の増大と多様な担い手の確保育成」に関する実践事例として、オホーツク管内のJ A こしみずにおける地域での連携・協同した労働力確保の実践として、農作業支援事業を立ち上げ外国人実習生を含む町内外のスタッフを雇用し、除草など組合員の負担軽減の取り組みを紹介した。議案第2号「次世代につながる協同組合の価値と実践」に関する実践事例として、道内J A における准組合員との関係づくりに向けた取り組み事例について発表した。石狩管内のJ A さつぽろは准組合員向け情報誌「虹のしずく」を発行。イベント告知や地場産野菜にスポットを当て歴史やレシビなどを掲載し情報提供している。上川管内のJ A ふらのでは購買事業においてセルフ化を推し進め観光地故の外部利用者獲得の増大を図った。またLINE@を活用した即応性の高い情報提供の配信に取り組んだと発表した。

広域

J A とまこまい広域交歓会

J A 道央ヤングプロジェクト交流会

J A とまこまい広域交歓会（若手職員が交流を図る会）は10月18日、北広島市にあるJ A 道央農生産事業本部会議室でJ A 道央ヤングプロジェクトとの交流会を実施した。

当J A の交歓会は、若手職員が相互の業務と情報を共有し事業への貢献と親睦を深め、関係する団体との連携を強化することを目的に平成26年に設立され、これまでは各支所施設の見学や地域の祭事へ参加し地元住民との交流を図ってきた。今回の交流は若手組織された団体がJ A 道央にあるとの話を聞きつけ、他J A との交流を図るため交歓会からアプローチをかけ実現した。

異なる観点から活性化を図るヤングプロジェクト役員の方と接することができて刺激を受けた。この交流から今後は、J A 道央への視察研修など他J A との交流をしていきたい」と交歓会担当者は話した。



▲交歓会（手前）とヤングプロジェクトの交流の様子

広域

東胆振地産地食フェア開催

とまこまい広域産農畜産物多数使用

第13回東胆振地産地食フェアイン・とまこまい（実行委員会主催）が10月23日、苫小牧市グランドホテルニュー王子3Fグランドホールで開催された。

当J A で生産されている白老牛・氷室メークイン・南瓜・ハスカップなどの広域産の農畜産物も用いられ、地元の飲食店ら26店舗が出店。また鹿肉を使ったオハウ（三平汁のルーツとも言われる料理）民族伝統料理・地元の貝づくしを提供する恒例のスペシャルコーナーが設けら



▲鈴木実行委員長の開催あいさつ



▲厚真小林農園の自然卵を使用した「蟹入り出し巻き卵焼き」

れ、計70品・9,500食、アルコールやジュースが用意され来場した約500人に立食形式で料理が振舞われた。またお楽しみ抽選会が開かれ、協賛企業より約60品目の景品が集まり、当J A からは「たんとうまい5kg×5袋」を提供した。

同フェアは、東胆振で生産されている農畜産物や海産物を食材として使用した料理を一般市民の方々に楽しんでもいただくため、地産地食の推進と料理文化の向上を図ろうと2006年から毎年開催している。

広域

日胆地区J A 青年部研修大会

『新時代』〜令和という新時代に向かって
新たな日胆農業を目指す！〜

日胆地区J A 青年部（日胆地区農協青年部協議会主催）は11月8日、苫小牧市の日胆農業会館で日胆各地区から約60名が集い、令和元年度日胆地区J A 青年研修大会を開催した。（同部からは11名が参加）

H B C の北海道農業応援番組の「あぐり王国北海道NEXT」に出演している森結有花アナウンサーを講師に招き基調講演を行ったほか、活動実績発表会へは中澤青年部長が同部を代表して、テーマ「夢を着よう〜絆で支え合い、夢見る力で共に前進〜」と題し、活動の内容を



▲実績発表をする中澤青年部長



▲森結有花アナとの集合写真

大トリとして発表した。また動画で発信！農の魅力コンテストへ穂別支部作成の動画を出品。「きつい」「汚い」「かっこ悪い」そんな3Kではなく、「かっこいい」「希望」「絆」を例に挙げ農業の魅力や3Kとして伝え、君も農業をやろうと呼びかけた。また懇親会ではアムレスリング大会が開かれ、宮崎穂別支部長が参加。それぞれ最優秀賞・優勝に輝き、12月5日に札幌で開催された全道大会へ駒を進めた。

早来

青年部早来支部道内視察研修

今後の気象変動に負けないために

11月19日、とまこまい広域農協青年部早来支部（今泉祐貴支部長）では、毎年の恒例事業である道内視察研修を開催した。早来支部の部員は酪農家が多く、朝夕の仕事があるため毎年日帰りの研修としており、今年は、上富良野町にあるスガノ農機とあゆむ博物館「土の館」を視察した。朝の搾乳終了後の9時45分に集合し、夕方の仕事に間に合うように16時30分までに帰宅という行程で行われた。また夜には忘年会を兼ねた懇親会も開催し、視察研修に13名、懇親会に14名が参加した。



▲村田館長の話を熱心に聞き入る部員たち

「土の館」は、スガノ農機が運営する土の博物館で、世界のプラウや国内外のクラシックトラクタを展示してあるほか、田村館長の講演や実演試乗も行っている。今回、田村館長には「気象変動に負けない土づくり」と題して講演していただき、降水量や気温の変化、作土の深さや深耕の重要性などについて部員達は興味津々で聞き入っていた。最後は、農業には女性の力が不可欠なのでパートナーを見つけて下さいと締めくくった。※写真のモノリス（土の標本）は、安平町早来（採土当時は早来町）の小華和牧場にて採土したもの。部員である小華和寛紀の牧場。



▲集合写真

追分

地元農産物販売

追分支部テント市・青年部追分支部長芋即売会 合同開催

11月19日（火）、JAとまこまい広域追分支部前駐車場にて毎年恒例の「追分支部テント市」と青年部追分支部による「長芋即売会」が合同開催された。

今年で15年目を迎えた「テント市」は、地元農産物やAコープ厚真店による食料品・日用雑貨品の販売を行っている。また、青年部主催の「長芋即売会」は地域特産の長芋の特価販売を行っている。どちらも地元住民に定着しているイベントで、開催当日は天候にも恵まれ、午前11時の販売開始前には開店を待つお客様の行列が出来ていた。



▲テント市販売風景



▲青年部長芋販売の様子



▲開店前

今回のテント市では営農農産課で黒大豆、ゴボウなど旬の農産物を販売。また、女性部追分支部では弁当の販売、Aコープ厚真店は新米の「たんとうまい」や一般食料品等を併せて販売した。さらに資材燃料課による発電機販売も実施された。また、同時開催の青年部長芋即売会では、安平ボランティアセンターの方々も地域振興ということで応援に駆け付けてくれ、青年部員と交流しながら販売を行った。用意した長芋は瞬く間に売れていき、大盛況のうちにイベントは終了した。

厚真

特産品が勢ぞろい

第36回東胆振物産まつりへ出店

10月25日～27日にかけて、「第36回東胆振物産まつり」（同実行委員会主催）が苫小牧市のMEGAドン・キホーテ3Fで開かれ、苫小牧市、白老町、安平町、厚真町、むかわ町の1市4町の農水産加工品・農産物・民芸品などの特産品を一堂に集め、年に一度のイベントを賑わせた。

今年は白老町の「虎杖浜たらこ」、苫小牧市の「ホッキ」、安平町の「はやきたチーズ」、厚真町の「あつまジンギス



▲みそをお買い求め頂いている様子



▲販売の様子

カン」むかわ町の「ししゃも、しいたけ」など各市町の特産品が顔を揃えた。当JAからは、本所が所在する厚真町の農産物を中心に新米の「たんとうまい」「さくら米」「雪瑞穂」のほか南瓜やごぼう、豆類といった旬の食材に加えて、女性部厚真支部謹製の「おふくろみそ」と「なんはんみそ」などの加工品を販売した。店頭では「おふくろみそ」と「なんはんみそ」の試食もされ、当JAのおふくろみそをご愛顧頂いているお客様からは「みそを毎年ここで買わせてもらっていて、物産まつりが待ち遠しかった」とのお言葉を頂いた。

穂別

本年産の穂別産長いも共撰始まる

穂別長芋生産部会

10月28日、穂別支所選果場にて特産の長いもの共撰作業が始まった。

職員・パート約40名で作業を行い、A品・B品と粗選別された長いも用コンテナから1本ずつ首切りし、長いもの重量・規格別に選別し、箱詰めされる。

31日には札幌みらい中央青果（株）及び丸一苫小牧中央青果（株）にて初競りが行われ、出荷した計5,500箱が競りにかかり、1箱（10kg）高値2,600円の値がついた。

支所担当者は「今年は比較的好天で推移したこと全体的に大ぶりで、平年以



▲重量・規格別に選別し箱詰めしている



▲支所駐車場で行われたふれあい市の様子

上の収量となった上、品質についても申し分ない」と話した。また、11月16日には旬の長いものを特別価格にて地域の方に販売する「第3回ふれあい市」が穂別支所駐車場にて行われ、地方発送する方を中心に、多くのお客さんが来場した。穂別長芋生産部会では生産者14戸で約19haを作付けしており、11月上旬をピークに出荷数量600トン、販売高1億4千万円を計画している。

令和元年度 役員道外研修報告書

11月13日から15日までの3日間に渡り、役員道外研修を開催しました。今回は胆振東部地震で頂いた数々の援助のお礼も兼ねて視察訪問する内容として、2班体制での実施となりました。また3日目でそれぞれの班が合流して、全員での研修も行って参りました。

- ・1班 視察先(岩手、栃木)
① JA岩手ふるさと ② あずま食品(株) ③ ㈱いなげや
- ・2班 視察先(名古屋、神奈川)
① ㈱ミツカン ② フジトランス ③ セントライ青果(株) ④ ㈱たまや
- ・全班 視察先(東京)
① 日本農業新聞社 ② 東京シティ青果(株)にて豊洲市場見学



○主な視察先の報告

・JA岩手ふるさと 昨年の震災には多額のお見舞を頂きました。

経営管理委員会制を取入れているとのことと意見交換会を行った。導入の経緯については、広域合併の結果、決裁等において時間が掛かることからスピード化を期待し、既に制度を導入していたJAを参考に導入した。

理事会の上位組織として経営管理委員会があり、会長1名、副会長2名、委員23名の計26名で構成されており、行政等への対応を行うほか理事会以下の監督機能も受け持っている。理事会は代表理事理事長、専務のほか職員の中から3名を常務理事とした5名で構成されている。

常務理事の変更は、基本的には任期3年を2期、その後については委員会承認があれば3期までであること。また職員の人事権は理事長が持っている。

経営管理委員会の議案は理事会構成員が行うため、理事会に挙がる議案については3役が協議を行っている。

経営管理委員会の構成については旧JAの地域割で割り振られている。

・㈱たまや

当JAから米(ゆめぴりか・ななつぼし)を取引して頂いており、店舗独自パッケージにして販売している。ななつぼし・ゆめぴりか共に店舗の主力商品となっており、道外での道産米ニーズの高まりを肌で感じることができた。

惣菜コーナーの弁当にも現在、ゆめぴりかを使用して頂いており、直接道産米を食べてもらうことによって潜在的なユーザーの取り込みにも力を入れている。

また、当JA米の販売実績により10kgに対し40円、5kgに対し20円の寄付金活動も今年3月から来年2月まで行って頂いており、被災地支援にもご協力いただいております。

・日本農業新聞社

農協改革についてや安倍政権の今後の見通しについて講演を頂いた。農政への厳しい注文が多いのを軽減する方法はないかとの質問に対し、議員達に自らが選ばれた理由を訴え続けることで議員が動くのを待つしかないとの回答を頂いた。

元年度産米の作況等については新潟や長野は高温障害が多くあり、西日本はウンカの発生が多かったとのことである。業界では今年は北海道の年になるのではとの話も伺った。また、通販サイトのamazonでは食料品に力を入れ始めており、精米商品では数千種類を出品している状況で産地によって売上数が大きく異なっているとのことである。



▲JA岩手ふるさとでの意見交換



▲㈱たまやにて売場を見学



▲日本農業新聞社での講演

JAとまこまい広域女性部

食文化研究講習会実施～子どもたちと「地産地消」食を楽しむ

JAとまこまい広域女性部は11月15日、苫小牧市立勇払小学校で食文化研究講習会を開催した。地元小学生と交流を深めながら、女性部と児童らが一緒に旬の地場産食材を用いた料理を作り、食育の観点から食事をとることの大切さと食を楽しむことを目的に開催し今年で12回目を迎える。

当日は児童15名、教職員8名、JA女性部6名、JA女性部事務局7名の総勢36名が参加し、調理前に使用する地元食材と当JAの農畜産物を紹介し農業知識を深めた。白老産の牛肉をはじめ、



▲食材の切りかたのレクチャーを受ける小学生



▲自ら作った料理を食べる

安平産のはちみつ、厚真産のハスカップ・イチゴ、穂別産の人参・ごぼう等、当JA管内で飼育・栽培された食材で、五目ご飯・生春巻き・かぼちゃ団子汁、ステーキ、スムージーを女性部員の指導の下、生徒自ら調理した地元食材に舌鼓を打ち、満足そうな笑顔を見上げていた。

生徒たちは「自分たちの身近な場所でたくさんの食材が生産されていることに驚いた」、「これからお店へ行ったら産地を見て買い物をしてみたい」と感想を述べた。

「女性の集い」震災の復旧状況を視察

JAとまこまい広域女性部は11月22日、厚真町の総合福祉センターで「女性の集い」が開催され、各支部から総勢77名が参加した。胆振東部地震発生から1年3か月余りが経過し、報道でも多く取り上げられていた吉野地区と富里地区を震災での復旧状況の視察を行った。

同部の佐藤美奈子部長は「今回の視察は現状を他支所の部員にも見てもらいたいということから私が発案しました。復旧は少しずつ歩みを進めていますが未だ道半ばです。営農に向けて頑張っている姿を見てもらいたい」と挨拶した。

参加部員は「このような時にしか視察することができないので、とても参考になった」、中には「現状を見てみたいと思っていたが、なかなか来ることが出来ず良い機会になった」とそれぞれ感想を寄せた。

このほか、各支部で持ち寄った特産品や手作りの品々を景品に抽選会も行われ、会場は笑顔に包まれていた。



▲復旧作業を見つめる部員たち



▲集合写真

平成31・令和元年度 総集編



H31. 2月号掲載
やま ぎし たか あき
山岸 孝昭さん 厚真町豊沢



H31. 3月号掲載
おお つか たけ ひろ
大塚 雄裕さん 白老町字白老



H31. 4月号掲載
よね ざわ じゅん
米澤 隼さん 厚真町朝日



R1. 5月号掲載
しら いし まもる
白石 守さん 安平町追分青葉



R1. 8月号掲載
みね の つよし
嶺野 健さん 厚真町豊沢



R1. 9月号掲載
すま まさ とむ かず
末政 知和さん 厚真町幌内

平成31年2月号から令和元年11月号までの燦々でご紹介させていただいた、これからの農業を背負う若き農業者の皆様です。



R1. 6月号掲載
く どう しゅうせい
工藤 秀聖さん 厚真町鯉沼



R1. 7月号掲載
なか ざわ せい や
中澤 誠弥さん むかわ町穂別



R1. 10月号掲載
そり まち たか し
反町 貴志さん 安平町追分豊栄



R1. 11月号掲載
おか しま しゅうじ
岡嶋 修司さん 厚真町豊丘

平成31年・令和元年度 販売取扱実績

(金額単位:千円)

品 目	計 画		10月末実績		進 捗 率	
	数 量	金 額	数 量	金 額	数 量	金 額
米	203,736俵	2,631,027	18,325俵	311,148	9.0%	11.8%
小麦	6,084 t	176,003	4,581 t	219,024	75.3%	124.4%
大豆	37,872俵	296,420	2,970俵	77,670	7.8%	26.2%
小豆	13,390俵	261,150	9,126俵	275,672	68.2%	105.6%
てん菜	37,845 t	431,944	0 t	19,899	0.0%	4.6%
雑穀	5,371俵	31,498	515俵	5,480	9.6%	17.4%
メロン	786 t	378,000	739 t	339,081	93.7%	89.7%
南瓜	6,264 t	598,039	2,779 t	319,654	44.4%	53.5%
ほうれん草	134 t	104,287	76 t	58,133	56.9%	55.7%
長いも	623 t	148,199	44 t	10,123	7.1%	6.8%
馬鈴薯	1,915 t	159,670	914 t	78,535	47.7%	49.2%
ブロッコリー	161 t	81,190	151 t	79,272	93.5%	97.6%
花卉類	1,998千本	135,575	1,638千本	113,743	82.0%	83.9%
生乳	15,261 t	1,404,012	11,532 t	1,064,358	75.6%	75.8%
乳用牛個体	686頭	387,240	378頭	225,293	55.1%	58.2%
和牛(肉用牛)	4,897頭	3,550,840	3,333頭	2,592,213	68.1%	73.0%
肉豚	24,500頭	928,120	16,858頭	694,343	68.8%	74.8%

●農産

【水 稲】5月は気温が平年並、多照に経過し苗の生育は平年並みであった。移植後、6月上旬までは気温が高く、分けつは進み莖数は多く推移したが7月は日照時間が平年比70%と寡照に経過したため生育は停滞した。前歴期間から冷害危険期にかけて気温が確保されたことから不稔歩合は平年並みであった。収穫期は平年並であったが10月上旬の多雨により収穫終りはやや遅れた。収穫構成要素は、穂数が多いが1穂粒数は少なく、㎡当たりの総粒数は平年比103%であった。千粒数は平年並みであったが登熟歩合は高く屑米は少なかった。農水省が発表した10月15日現在の作柄概要では、全国「99」全道「104」胆振「105」となっている。

【小 麦】融雪が早く4月5月と気温が高かったことから生育は進み、気生期・幼穂形成期で3日、止め葉期で5日早く推移した。6月も天候に恵まれ出穂期は5日早かった。7月に入り少雨ながらも寡照傾向で推移し登熟は緩やかに進み成熟期は平年並み、収穫作業は1日早まった。登熟期間は平年より5日長く粗麦重量は多くなった。調整実績(秋小麦)粗麦9.4俵・製品7.7俵(春小麦)粗麦6.1俵・製品4.9俵

【大 豆】播種・出芽期は好天に恵まれ平年より1日早く進んだが、開花期については平年並みとなった。開花期は寡照傾向、急激な温度変化で経過した影響により着莢数はやや少なく、また小粒傾向となり収量は平年をやや下回る見込みである。

【小 豆】播種・出芽期は好天に恵まれ平年より1日早く進んだが、開花期については平年並みとなった。着莢数はやや多かった。取引相場については市中在庫の減少により昨年に引き続き高値での取引となった。

【てん菜】直播栽培において春先、風害により播き直しの発生した圃場(約100ha)があったが、生育は移植・直播ともにやや早く推移した。(最播種直播圃場の生育は著しく遅れた)収穫時期の継続的な降雨もあったが収穫作業は順調であった。全道的には豊作基調であるが、管内の収量については風害の影響もあり個人差が大きい状況である。糖分については平年以上が見込まれる。

●そ菜

春先から天候が安定、5月は気温が高く、定植作業等は潤沢に進み生育も良好であったが、6月中旬からは曇天・低温が続き生育は平年並みとなった。露地野菜については、総じて豊作傾向となったが、園芸品目については、温度変化が多く難しい栽培となり収量は平年並みからやや不良となった。価格については、昨年11月から現在も価格が低迷しており、そ菜園芸品目全般に厳しい販売となり当初計画を大きく下回る見込みである。

●畜産

生乳出荷量については、当初計画15,261トンに対して、概ね計画通りの15,182トンを見込んでいる。乳牛個体販売は各酪農家での保有、庭先購買の減少等によって当初計画より落ち込む見込み。肉牛については、市場相場高値ではあるものの企業の素牛販売取扱減により計画を下回る見込み。肉豚については、輸入増により卸し段階の在庫量の影響による相場展開と、広域管内の出荷時期のスライドにより当初計画を下回る見込み。

ホクレン北海道黒毛和種市場
広域農協支所別取引成績(11月)
令和元年11月7日

	性別	成立頭数 (頭)	価格平均 (円)	平均日齢/体重 (kg)	平均kg/単価 (円)
白 老	去勢	28	764,893	1.117	2,290
	雌	17	692,353	1.024	2,175
苫小牧	去勢				
	雌	2	496,000	0.878	1,817
早 来	去勢	24	782,708	1.140	2,315
	雌	17	707,882	1.098	2,178
厚 真	去勢	27	762,000	1.199	2,206
	雌	9	642,222	1.042	2,048
穂 別	去勢	12	798,250	1.226	2,297
	雌	7	667,571	1.079	2,156
追 分	去勢	8	890,750	1.365	2,451
	雌	1	481,000	0.850	1,489
とまこまい 広 域	去勢	99	782,636	1.176	2,287
	雌	53	674,151	1.047	2,128
胆 振 管 内	去勢	184	776,326	1.158	2,297
	雌	101	664,990	1.023	2,128
市 場 計	去勢	886	754,986	1.127	2,311
	雌	562	657,945	1.008	2,158

北海道地方 3ヶ月予報

予報期間/12月～2月

令和元年10月25日 札幌管区気象台発表

気温予想

3カ月	低20%	並40%	高40%
12月	低20%	並40%	高40%
1月	低20%	並40%	高40%
2月	低30%	並30%	高40%

降水量予想

3カ月	低30%	並30%	高40%
12月	低20%	並40%	高40%
1月	低30%	並30%	高40%
2月	低30%	並40%	高30%

- 12月: 北海道日本海側・オホーツク海側では、平年に比べ曇りや雪の日が少ないでしょう。北海道太平洋側では、平年に比べ晴れの日が少ないでしょう。気温は、平年並または高い確率ともに40%です。降水量は、北海道太平洋側で平年並または多い確率ともに40%です。
- 1月: 北海道日本海側・オホーツク海側では、平年に比べ曇りや雪の日が少ないでしょう。気温は、平年並または高い確率ともに40%です。降水量は、北海道日本海側・オホーツク海側で平年並または少ない確率ともに40%です。
- 2月: 北海道日本海側では、平年と同様に曇りや雪の日が多いでしょう。北海道オホーツク海側・太平洋側では、平年と同様に晴れの日が多いでしょう。

出典: http://www.jma.go.jp/jp/longfcst/101_10.html
気象庁ホームページ/防災情報/季節予報/北海道地方3カ月予報より

理事会報告

令和元年10月7日(月)に総合営農センターで第11回理事会が開催され、次の事項について報告、協議、承認がされました。

報告事項

1. 一般報告と当面する諸行事について
2. 8月末の財務報告について
3. 10月1日現在、農作物の作況について
4. 組合員の異動について
5. 固定資産の取得、処分について
6. 第2四半期定期監査・常勤監事随時監査の結果について
7. 「たんとうまい」新米贈呈について
8. 令和元年度新米キャンペーンについて
9. 家畜共進会・枝肉共励会の結果報告並びに開催予定について
10. 白老町長選候補者「戸田安彦」氏への推薦状の交付について
11. 令和2年度新採用職員内定者について
12. 役員組員訪問の意見集約について
13. 資金運用制限に係る長いも出荷契約金の交付について
14. 道外役員研修日程について
15. 令和元年度北海道報徳「善行賞」受賞候補者の推薦について
推薦支所・・・穂別支所
16. 不祥事再発防止の進捗状況について

協議事項

1. 令和2年度役員選任実施日程案について
2. 一般事務の冬期間土曜日営業の廃止検討について
3. 中央会救援募金使途について

付議事項

- 議案第1号 管理委員会、生産委員会、経営指導委員会、生産施設企画委員会各委員の選任について
議案第2号 新理事に対するクミカン供給の承認について
議案第3号 給与規定の一部改正について
議案第4号 出資の減口と譲渡について

令和元年12月2日(月)に総合営農センターで第12回理事会が開催され、次の事項について報告、協議、承認がされました。

報告事項

1. 一般報告と当面する諸行事について
2. 9月末・10月末の財務報告について
3. 組合員の異動について
4. 固定資産の取得、処分について
5. 第2四半期定期監事監査・常勤監事随時監査への回答について
6. みのり監査法人期中監査Ⅱ経過概要について
7. 令和元年度中央会経営監査報告について
8. 内部監査報告について
9. 第3四半期余裕金運用状況について
10. 令和元年度組合員懇談会開催要領について
11. ALM委員会報告について
12. 反社会的勢力排除対応管理先への対処方針について
13. 資金運用制限下でのクミカン精算対応について
14. 第13回農業総合研修会の開催について
15. 令和元年度農業振興基金の運用状況について
16. 農産物代金等立替の実施について
17. 家畜共進会・枝肉共励会の結果報告について
18. JA共済コンプライアンス点検結果及び改善方針の概要について
19. 管理委員会・生産委員会・生産施設企画委員会の報告について
20. 役員推薦委員の選任について
○役員選任規程に基づき推薦委員の候補者を各支所毎に選任いただき、次回の理事会にて14名の推薦委員を報告致したい。
・委員定数14名(厚真支所3名、他支所各2名、理事会枠1名)
21. 役員報酬審議会委員の選任について
○役員報酬審議会規程に基づき審議会委員の候補者を各支所毎に選任いただき、次回の理事会にて13名の審議委員を議決いたしたい。
・委員定数13名(厚真支所3名、他支所各2名)
・申し合わせ事項 最低1名は留任
22. 経済・販売部門の与信審査の結果について
23. 令和元年度台風等にかかるJAグループ支援募金について
24. 労働基準監督署からの是正勧告について
25. 不祥事再発防止策の進捗状況について
26. 年末年始の営業時間について

協議事項

1. 第3四半期収支予測について
2. 一般事務の冬期間土曜日営業の廃止について

付議事項

- 議案第1号 令和2年度営農計画樹立方針について
議案第2号 年末手当の支給について
①総合職：(本俸＋管理職手当＋家族手当)×2.1ヵ月
〔業務職(初任職含)：店長(総合職と同じ)、所長・工場長(総合職の90%)、一般職(総合職の75%)〕
②支給日：12月10日(火)
議案第3号 和牛精液取扱いに係る授精所設置について
議案第4号 財務管理規程等の一部変更について
議案第5号 出資の減口と譲渡について
議案第6号 理事の貸付について
議案第7号 上野倉庫の建設について

J A 日 誌

2019 12月	2020 1月	2020 2月
16日(月) 4地区常務参事会議(札幌)	1日(水)	17日(金)
17日(火) 第13回理事会	2日(木)	18日(土)
18日(水) 新任理事研修～20日	3日(金)	19日(日) 第13回あつま国際雪上3本引き大会(かしわ球場)
19日(木) 第11回企画会議(苫小牧)	4日(土)	20日(月) 常勤役員と広域女性部役員との意見交換会(予定)、厚真支所農事組合長会議(予定)
20日(金)	5日(日) 白老町新年交礼会	21日(火) 厚真支所人間ドック集団健診
21日(土)	6日(月) 仕事始め、豊稔祈願祭	22日(水)
22日(日)	7日(火) あつま新年交礼会	23日(木)
23日(月)	8日(水) 南北海道市場初せり、安平町新年交礼会	24日(金) 日胆管内組合長会新年交礼会(登別)
24日(火) あつま川頒布会新酒発表会(予定)	9日(木) 肉牛市場	25日(土)
25日(水)	10日(金) 乳牛市場、新採用辞令交付	26日(日)
26日(木) 第13回農業総合研修会	11日(土)	27日(月) 第12回企画会議
27日(金)	12日(日)	28日(火) 第12回苫小牧園一次産業懇話会
28日(土)	13日(月)	29日(水)
29日(日)	14日(火)	30日(木) 第14回理事会、第3回経営指導委員会
30日(月) 仕事納め	15日(水) 4地区農協監事協議会冬期研修会(札幌)、広域年金友の会温泉湯治～17日(登別グランドホテル)	31日(金) 退職辞令交付、採用辞令交付
31日(火)	16日(木)	

第13回農業総合研修会

毎年、農業関係の有識者による基調講演をお送りしております「農業総合研修会」を今年も開催致します。今年の講演者はHBC北海道放送局アナウンサー・気象予報士の近藤肇氏と農水省の国際経済課長の三野敏克氏を予定しております。皆様のご参加をお待ちしております。

開催日時 令和元年12月26日(木) 10:30～14:00

開催場所 厚真町 総合福祉センター

▶ 昨年講演した森結有花アナウンサー



北海道農民管弦楽団 第26回定期演奏会 胆振東部地震復興祈念コンサートの開催

北海道農民管弦楽団は、財政破綻の夕張市、東日本大震災の津波被害に遭った岩手県陸前高田市、十勝地方を襲った台風被害に遭った清水町で少しでも現地の方を元気づけたい、勇気づけたいという想いで活動を行っており、今回胆振東部地震の被害を受けて地震の爪痕が残る地域での演奏会を、以下の日程で開催しますのでご案内致します。

①むかわ公演

開催日時 令和2年2月1日(土) 開場18:00 開演18:30

開催場所 むかわ町 四季の館たんぼほホール

入場無料(整理券を配布)

整理券配布場所 むかわ町教育委員会(本庁3階)、穂別総合支所、
「四季の館」窓口

②安平公演

開催日時 令和2年2月2日(日) 開場13:00 開演13:30

開催場所 安平町早来公民館(町民センター)

入場料無料(整理券を配布)

整理券配布場所 安平町教育委員会(総合本庁2階)、
早来公民館(町民センター)、追分公民館、遠浅公民館

冬の農機格納整備行います 12月～来年3月まで10%OFF

厚真支所農機車輛センター、穂別整備工場では令和元年12月から令和2年3月までの冬期間、農機具の格納整備を実施しています。

期間中は通常の10%引きの工賃で作業を行います。春からの本格的な農作業に向け、トラブルを防ぐためにも、この機会に農機具の整備・点検をお勧め致します。

期 間 令和元年12月～令和2年3月まで

該当農機具 トラクター、コンバイン、田植機、作業機
(格納整備以外の修理に関しては該当しません)

工 賃 期間中10%OFF

連絡先 厚真農機・車輛センター (0145)27-2346
穂別整備工場 (0145)45-3688